

平成29年度
市 政 懇 談 会
庄 原 地 域
(東 ・ 山 内)

と き : 平成29年9月28日 (水) 19時00分～

と ころ : 東自治振興センター

1 開 会

2 あいさつ

- ・ 市長
- ・ 自治振興区代表者

3 意見交換

■ 地域テーマ

獣害対策について

○自治振興区提案 (20分)

○意見交換 (60分)

質問・回答

4 閉 会

配布資料

- 資料1 地域テーマ資料 (自治振興区資料)
- 資料2 地域テーマ関連資料
- 資料3 事前要望回答書 (市作成資料)
- 資料4 市からの情報提供資料

市政懇談会地域テーマ資料

(東・山内自治振興区)

地域テーマ	獣害対策
地域テーマの選 定理由	イノシシを中心に鹿、熊、ヌートリア、カラス、他さまざまな動物が田畑を荒らし、農家の営農意欲をなくしている。
現状及び課題	① 現状は イノシシは一年中徘徊し、また最近のイノシシは昼にも出没するので、被害が増大している。 ② 課題は イノシシの出没する田畑は耕作放棄されるようになり、また耕作している田畑でも、作物の耕作に使う力とイノシシ対策に使う力が5分5分になっている。
自治振興区の取 り組み	① 取り組みの紹介 イノシシ除けの電柵やメッシュの設置。自治会によっては箱罠、くくり罠の設置で防御と、殺処分をしている。 ② 市へ要請して猟師の方による駆除を行っている。
提案事項 又は 地域の思い等	① 猟期を一年中にする（制限を設けない） ② 猟師を増員し、駆除の要望に速やかに対応できる体制作り ③ 狩猟免許を持った農家などが、罠などで捕獲したイノシシの報奨金の増額（現在 5000 円）イノシシを獲ることで生活費が出るくらいの報奨金を出せば本気で獲る人が増え、イノシシの減少につながる。 ④ ジビエ料理などでの買い取りシステムの構築 ⑤ その他
期待できる効果	① イノシシの減少で農家にかかる余分な経費と労力が要らなくなり、農家所得の向上につながる。 ② 耕作放棄地の減少
質問事項	① 猟期の撤廃は ② 猟師の増員は ③ 駆除報奨金の増額は ④ 獣肉の買取システムの構築は